

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成18年10月26日(2006.10.26)

【公開番号】特開2005-225780(P2005-225780A)
 【公開日】平成17年8月25日(2005.8.25)
 【年通号数】公開・登録公報2005-033
 【出願番号】特願2004-33984(P2004-33984)
 【国際特許分類】

C 0 7 C 27/00 (2006.01)
 C 0 7 C 29/04 (2006.01)
 C 0 7 C 31/12 (2006.01)
 C 0 7 C 45/27 (2006.01)
 C 0 7 C 49/10 (2006.01)
 C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 27/00
 C 0 7 C 29/04
 C 0 7 C 31/12
 C 0 7 C 45/27
 C 0 7 C 49/10
 C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】
 【提出日】平成18年9月12日(2006.9.12)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0028
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0028】

[参考例5] (触媒Eの調製)

参考例1とほぼ同様な方法で触媒Eを調製した。この触媒Eの組成は、 SnO_2 25質量%、 MoO_3 36質量%、 SiO_2 39質量%であった。この触媒Eの $\text{Mo}/(\text{Sn}+\text{Mo})$ 原子比は0.60であり、成形粉末が塊を作り焼成が均一にできなかった。電子顕微鏡による観察で、 MoO_3 結晶の成形体表面への析出が見られた。触媒Eの電子顕微鏡写真を図3に示す。

このことから流動床触媒としては、 $\text{Mo}/(\text{Sn}+\text{Mo})$ は0.50未満が好ましい。